レッスン：PYR NO.2

テーマ：3つのステージでのエクササイズ/ パート２

PYR NO.2 KE3/D5

私の兄弟・姉妹たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

過去のレッスンで様々なシンボル、2次元および3次元のシンボルについて話し、それらは創造界の不動の諸法則のなかに見出すことができると述べました（それらのシンボルが法則を意味しているからです）。

　2次元のシンボルである五芒星にはそれが意味する2つの異なった意味があります。1つは五感を示し、もう一つは人間のイデアフォームの元型を意味します。人間のイデアフォームは現在のパーソナリティーの部屋の中にあります。太陽神経叢にある小さな五芒星、そして人間のイデアフォームを示し、人間を取り囲んでいる五芒星もあります。

　五芒星のなかにいるあなたという場合、この五芒星は人間のイデアフォームとしての元型を意味し、それは単に人間を守護するだけでなく、もし現在のパーソナリティーがある程度このリアリティーに同調できればさらに多くを提供します。

　2次元のもう

一つのシンボルは14芒星です。

この星は一つの生涯においてその現在のパーソナリティーが経験しなければならないものを象徴しますが、

同時に実存の諸世界にいる人間が最初の転生から最後の転生（それによって自己実現が現わされる）までに経験すべきものを象徴します。そしてまた小さな14芒星が太陽神経叢にあり、大きな五芒星は大きな14芒星のなかにあります。

　ですから、それらのシンボルは2次元ですが、六芒星もあり、それは下向きと上向きの2つの三角形から構成されていて、真ん中に共通の中心があります。このシンボルはLifeそれ自体を意味しています。なぜなら、下向きの三角形はLife、絶対Lifeであり、上向きの三角形はモナドセルフを意味し、モナドセルフはその位置でその本質を完全に現わしています。現在のパーソナリティーにとってそれはいわゆるキリスト意識、または現在のパーソナリティーの自己実現でもあり、あるいは現在のパーソナリティーの最初の磔への到達とも言えます。

　しかし、それは何を意味しているでしょうか？そのパーソナリティーが絶対存在を意味する大きな三角形（＊一番上の三角形）と同形である現在のパーソナリティーの大きな三角形（＊一番下の下向きの三角形）をマスターしたことを意味します。一番上の大きな三角形、それは静止しているアウタルキー、またはそれ自身の中で現れている絶対存在であり、それを私たちは汎宇宙的キリストロゴスと呼んでいます。ですから2つの同形の大きな三角形がありますが、1つは下向きです。

　現在のパーソナリティーが自己実現に到達した、または最初の磔に到達したと言う時、それは現在のパーソナリティーが自動的に何であれこの三角形が提供しているものを完全に現わしていることを意味します。

　さて、もう一つのシンボルである三角形がありますが、それは何であれLifeが現わしているものの究極、または「Life is」（＊Lifeの本来の状態）であり、それはLifeがそのアウタルキーのなかで究極的なステートにあることを意味します。

　ですからこの三角形はまた潜在的可能性のサイクルのなかにも見出されます。なぜならそれがなければ現れも活動もLifeもないからです。

　2次元のシンボルとして五芒星、14芒星、六芒星、そして三角形について述べてきました。

　3次元のシンボルに関しては、それらは私達がLifeからより多くを現わすための手段、様々なサイクルによって提供される助けです。しかし、四面ピラミッド、三面ピラミッド、五面ピラミッドは三角形から出来ており、そして一面ピラミッドは回転する三角形です。

Page2

　それらの三角形は等辺ではありません、なぜならそれらが提供するものは大きな三角形をマスターする上で十分ではないからです。言い換えれば、それらが提供するものはLifeの本質を完全に現わすには不十分だからです。ですから部屋のなかで現在のパーソナリティーはそれらのシンボル、2次元および3次元のシンボルを使用します。

　現在のパーソナリティーが部屋にいる間に最初にすべきことは、自分が部屋にいることを認識することである、と言いました。どのようにそれを行いますか？それはまず五芒星の助けによって、あなたを囲んでいる部屋の境界を認識することです。なぜなら、壁に注意が行く、引っ張られるという助けがなければ、現在のパーソナリティーはそれに気づかないからです。

　その助けによって、現在のパーソナリティーは最初に部屋の4つの面から来ているそれぞれの色に気づきます。そして徐々に初めはその壁に2次元の形、それは人間の形をしていますが、何となくそれが見えてきます。それは壁の輝きの中に光りとしてその形が見えてきます。

　そしてその形に2次元ではなく3次元の形を与える努力が必要です。それがこのレッスンで私たちが行うことです。

　最初の段階では、自分の周りに､壁に様々な色の輝きを見ます。その次は2番目の段階として、その壁の光のなかにある形を見ます。異なった色の4つの壁のなかに同じ形を見ます。2本の腕と2本の足のある人間の形で、顔もありますが、壁の光と同じ色です。それだけです。

　自己実現した現在のパーソナリティーの輝きは他のアークエンジェルのオーダーの輝きとは異なっています。なぜなら人間のイデアはアークエンジェルのように特定の仕事だけを行うのではないからです。それは制限されたセルフエピグノシス、プログラムされたセルフエピグノシスではないからです。

Q：私たちは思考を越えた精妙なバイブレーションについて話しますが、しかし私たちは常にそれを言葉、思考の枠組みのなかに置こうとします。

Ｋ：他の方法はないのでしょうか？まず最初は何であれ手に入るものでスタートしなければなりません。最初は五感を使用しなければなりません。なぜなら今のところパーソナリティーが使っているのは五感だからです。

　しかし、

**それに到達するために思考を使う必要があります。自己実現に到達するために何を使うことができるでしょうか。あなたは今いるレベルからスタートしなければならず、それは考え、思考を通じてです。**

それゆえ、言葉ではそのリアリティーを現わすことはできない、と述べているのです。しかし、ある程度までは何であれ、できるところまでそのリアリティーを認識する必要があります。そのためにそれらの助けがあるのです。それらの助けがなければ、進化のスピードを加速化することは不可能です。不可能です。

　思考はこれ全てを理解することはできませんが、自己実現に到達するとあなたはもはや思考は使いません。あなたは思考を使ってキリスト意識のリアリティーに到達するのではありません；現在のパーソナリティーとして同調を使うのです。

　二元性においては、思考は旅するための最も速い手段です。

**しかし現在のパーソナリティーが4番目のサイクルをマスターすればもはや二元性を現わすことはありません。思考の動き、活動はなく、すべては全てのなかにあり、全ては静的なステートにあり、活動は「存在」(Being)の中だけでなく「存在」の上にもあるこの静的なステートのなかにあるのです。それは言葉では説明できない何かです。それは実際に同化です。ですから最も速い活動とは神の黙想の活動、または何であれ神のブレーシス（＊絶対的意志）の結果であるその活動なのです。これに比べたら思考は何ものではありません。**

Page3

　絶対存在は全ての原因であり、絶対リアリティーはどんな人間の理解をも越えている、と言えます。私達が絶対存在について話す時、それはある程度人間の脳で把握できる程度までということであり、正確に言えば、人間の気づきのレベルで把握できる程度までということです。なぜなら気づきのレベルを決定するのは脳ではないからです。

とにかく、徐々に少しずつ現在のパーソナリティーは「リアリティーそれ自体」からより多くを見ることができるようになります。前に述べたように、パーソナリティーは相対的リアリティーの様々なレベルに到達します。

二元性の諸世界にいる間にアプローチする絶対リアリティー、それは経験によるものではありません。Lifeは二元性を必要としません、二元性はLifeのなかの1つの能力です。しかしLifeそれ自体は二元性を必要としません。

Q：人体のなかの電気について質問したいのです。私たちはLifeそれ自体によってエネルギーを与えられているのですか？それは摩擦によるものですか？

K：それは活動の結果として生じます。Lifeの主な特質の一つは活動、動きです。電気という現象は、それが引き起こしているものの一番低い現れ、またはバイブレーションです。今の世界のバイブレーションには4つのエレメントがありますが、さらに3つの高次のエレメントがあり、それらは電気、磁気、そしてエーテルです。それらはエレメントですが、それらを生じさせている原因には触れることはできません。触れることができるものとは何でしょうか？それはそれらのエレメントによる現象です。そうです、この身体が存在し、実在するのは、私たちの中に磁気、電気のエレメントがあり、またエーテルが流れているからです。エーテルなしではこの身体は実在し、生きていることはできません。あるいは生きた状態を保てません。

　あなたはこの輝きを外側のアウトラインとして身体に、そして物体に見ることができます。それは白黄色、または金白色っぽい色として見えます。もしあなたが目を閉じてから再び前を開けると、私が述べたそのような色がアウトラインとして見えるかもしれません。それが見えるのは、全てが光りとして輝いているからです；存在し、実在するものは輝いています。なぜなら、そのなかにはそのような活動、動きがあるからです。

　これをオーラと誤解しないでください。オーラは現れと関係しており、ある程度まで外側に向かって放たれています。外側のアウトラインの輝きは、身体の形に沿って、身体の表面に見られます。さて、身体から出てくるそれとは別の光もあります。それは身体の部分として、それを見て病気かどうか等を知ることができます。しかし、エレブナが使っているのはそれだけではありません。エレブナでは、いろいろな本に書かれているようにそれによって病気を見分けるのではありません。

　さて、エクササイズの2つの段階について説明しましたが、それに3つめを加えましょう。それは視覚化、あるいは壁からの輝きの中にフォームを見る、フォームに3次元的状態を与えるものです。どのように行うかは、以下のエクササイズでわかるでしょう。ここでは1番目の段階からではなく、2番目の段階から行います。

**PYR No.1 エクササイズ１**

　目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…白い自分をイメージし、自分の境界を感じます…純白の五芒星のなかに守られている自分を見、部屋の真ん中で正面の純白の輝きに面している自分を見ます…あなたは部屋のなかで純白の輝きの壁に向かって立っており、その壁のなかにある形が見えます…それは人間のイデアフォームです…それは壁と同色ですが、壁よりも輝いています…それでは90度右に回転すると、今赤い光の輝きのなかに同じ形をみることができます…

　さらに右に90度回転し、ホワイトブルーの壁に面し、そこに同じ形の輝きを見ます…

それでは180度左に回転すると、純白の輝きがあります…さらに90度左に回転すると、壁から出ているウルトラバイオレットが見え、その中に壁よりも輝いている同じ形が見えます…

　それでは右に90度回転し、今純白の光を放っている壁に面して立っています…そこに立っていると、周囲の各壁から放たれている4つの輝きのなかに、初めははっきり見えませんが何かがあるのに気づきます、そしてそれは人間のイデアフォームと同じ形です…各壁にあるそれらの形は4つとも同じ形です…

　今、目の前の純白の輝きにフォーカスしていると、その形の光の動きが見えるのですが、もう一つ別の動きが見えます…その形がゆっくりと動き始め、両手、身体が動いています…それは少しずつ壁から抜け出て、人間のイデアフォームをした光の形があなたの方に移動してきます…そして壁とあなたとの距離の真ん中まで来て停止し、あなたの正面に立っています…

　それでは右に90度回転すると赤い光の壁に面しています…同じように、赤い光の形が壁から出てきます、それは両手と両足のある3次元の形ですが、それがあなたと壁の真ん中まで来ます…それではまた右に90度回転し、そこでも同じことが生じます…両手、両足のある3次元の形の光の存在があなたと壁の間の真ん中まで来ます…それでは180度左に回転すると純白の壁に面しています…それでは更に左に90度回転するとウルトラバイオレットの光の壁に面しています…そこでも同じことが生じます…人間のイデアフォームをした形が壁とあなたの真ん中まで来ます…それでは右に90度回転すると、純白のその形つまり身体に向かい合っています…それでは右にも左にも回転せずに、その位置で同時に4つの形つまり身体を視覚化します…正面には純白の色の身体、右には赤い光の身体、後ろにはホワイトブルーの身体、左にはウルトラバイオレットの輝きの身体です…4つの身体は3次元的に壁とあなたとの距離の真ん中に立っていて、そしてそれらはそれぞれ1つのアークエンジェルを意味します。

　４つの体を同時に見ることができるようにします。

　あなたのそばにいるそれらのアークエンジェルと交流できるようになるために、必要なことを何でもすることを自分自身に約束します。

　あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。終わります。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

このエクササイズは3つのステップ、3つになっていますが、3つを一度に行っても、1番目と2番目、または2番目と3番目を一緒に行っても構いません。

最初のステップ、それは部屋にいる自分を見ます。そして何であれ五芒星があなたに提供するものの結果として、徐々に目の前の壁から来る光を見ることができるようになります。勿論、初めはそこに壁があるかどうかもわかりませんが、五芒星の助けによってその輝きが見えてきます。そして90度右に回転しますが、初めは何も見えませんが徐々に光が見えてきます。同じように更に90度、次は左に180度、そして左に90度というようにします。これが最初のステップです。

　2番目のステップは今行ったこと、そしてその後に形が動くという3つめのステップがあります。

　2番目のステップでは、再び純白の輝きに向かい合いますが、今回はそこに人影があります。右および左に回転するプロセスについて説明しましたが、これらはドアーを開くための鍵なのです。それは金庫を開けるのと似ていて、それには組み合わせが必要です。これは法則によってそうなっています。それは人間が作り上げたものではありません。たくさんの真珠が現れてくるので、あなたは金庫の扉を開いたことがわかることでしょう。

　このエクササイズは分けて行うことが可能です。もし他のステージと一緒にやりたくなければ、最初のステージを何回も何回も好きなだけ行い、それから2番目、3番目を行います。また以前のエクササイズと続けて行うこともできます。私たちはたくさんのエクササイズを与えましたから、それによって将来他のエクササイズもその恩恵を蒙ることでしょう。たとえ、**これらのサークルのなかの一人の人が潜在的可能性の次のサイクルに入ることを達成しただけでも、それは非常に偉大な達成といえます。人間としての一人のモナドセルフが自己実現に到達することによって人類に与えることができるもの、それを過小評価しないでください。ですから、たとえ一人が何かを達成しても、それは非常に重要なことです。**

EREVNA PYR NO.2/KE03/05